

第2期宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画の達成指標の進捗状況について

妊産婦期・乳幼児期

概ね5歳まで

【凡例】

◎:改善し、目標達成

○:改善しているが、目標は未達成

△:変わらない

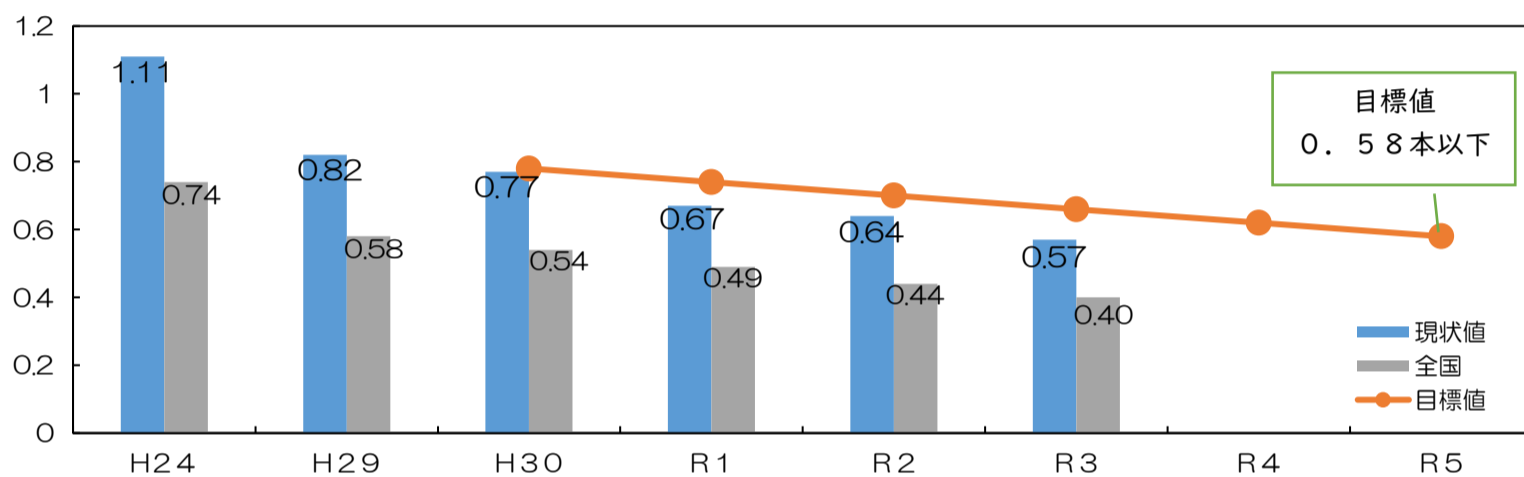
×:悪化している

3歳児の一人平均むし歯本数（本）

目標値	0.58本以下	評価	◎
-----	---------	----	---

計画年度	H24	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
(調査年度)	(H23)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)	(R3)
現状値	1.11	0.82	0.77	0.67	0.64	0.57		
目標値			0.78	0.74	0.7	0.66	0.62	0.58
全国	0.74	0.58	0.54	0.49	0.44	0.40		

地域保健・健康増進事業報告（厚生労働省）



傾向と対策

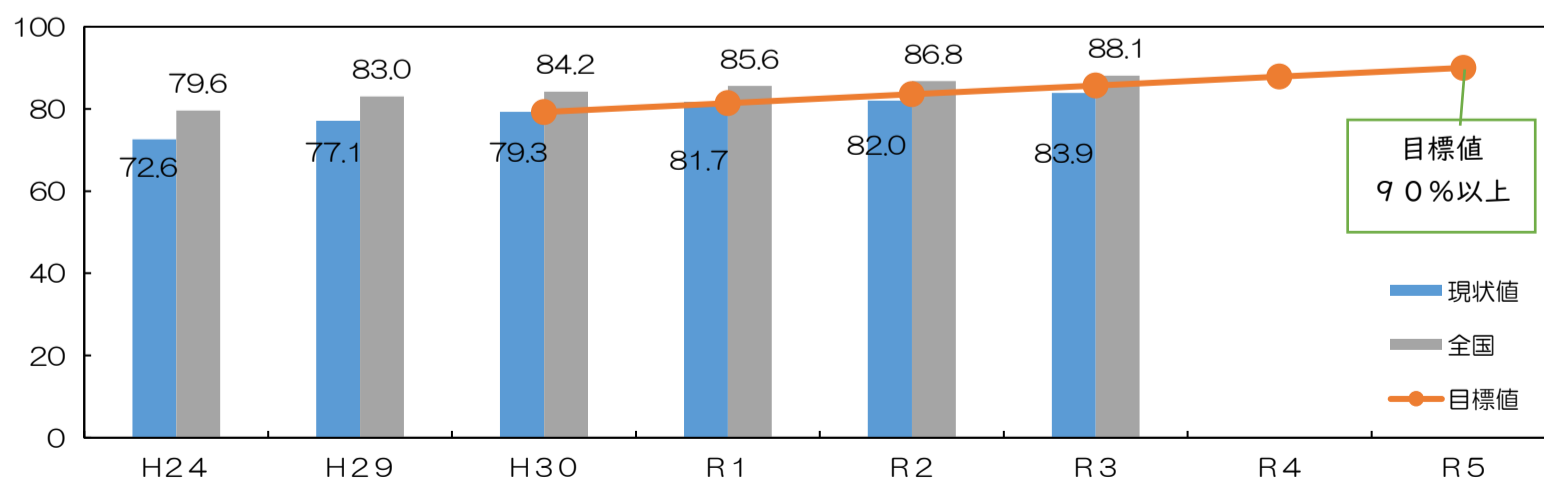
- ◆ 本県の3歳児一人平均むし歯本数は年々減少しており、R1（調査年度）結果では、0.57本と、第2期計画の目標値である0.58本を達成する実績となった。
- ◆ 市町村の乳幼児健診や歯科保健指導、フッ化物応用等の取組により、着実にむし歯本数は減少している。
- ◆ 一方で、全国平均を下回る状況が続いており、更なる取組が必要である。（全国33位）

3歳児におけるむし歯のない人の割合（％）

目標値	90%以上	評価	○
-----	-------	----	---

計画年度	H24	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
(調査年度)	(H23)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)	(R3)
現状値	72.6	77.1	79.3	81.7	82.0	83.9		
目標値			79.3	81.4	83.6	85.7	87.9	90
全国	79.6	83.0	84.2	85.6	86.8	88.1		

地域保健・健康増進事業報告（厚生労働省）



傾向と対策

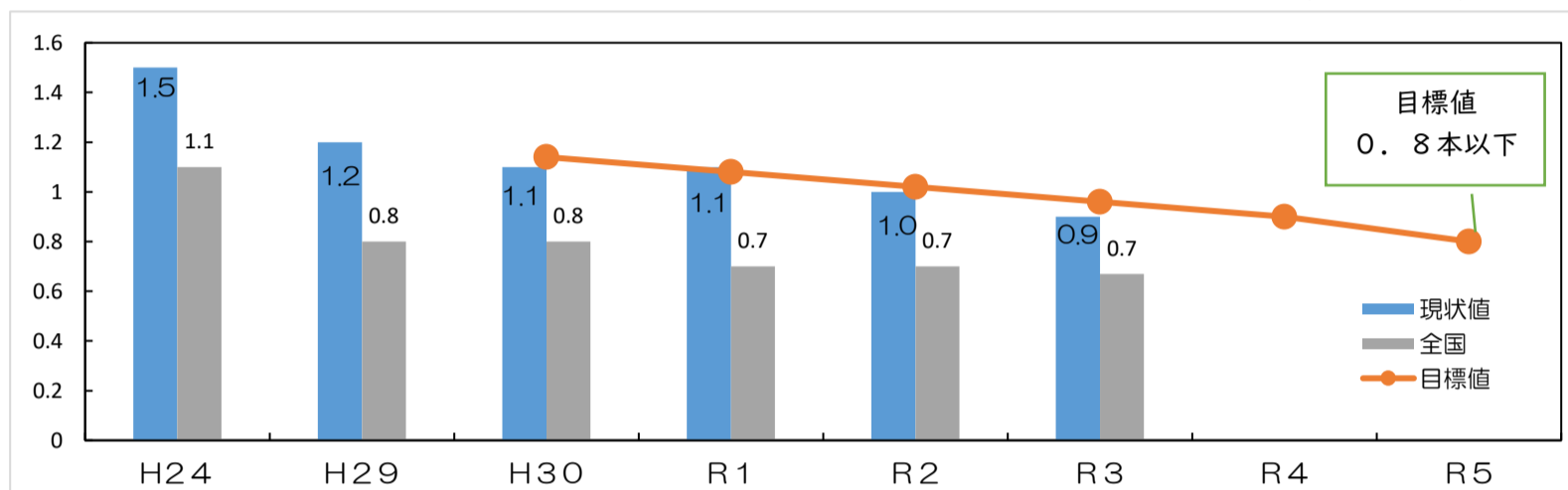
- ◆ 本県の3歳児におけるむし歯のない人の割合は年々増加しており、R1（調査年度）結果では、83.9%と、第2期計画の目標値である90%に近づいている。
- ◆ 市町村の乳幼児健診や歯科保健指導、フッ化物応用等の取組により、着実にむし歯本数は減少している。
- ◆ 一方で、全国平均を下回る状況が続いており、更なる取組が必要である。（全国33位）

12歳児の一人平均むし歯本数（本）

目標値	0.8本以下	評価	○
-----	--------	----	---

計画年度	H24	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
(調査年度)	(H24)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)	(R3)	(R4)
現状値	1.5	1.2	1.1	1.1	1.0	0.9		
目標値			1.14	1.08	1.02	0.96	0.9	0.8
全国	1.1	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7		

学校保健統計調査（文部科学省）



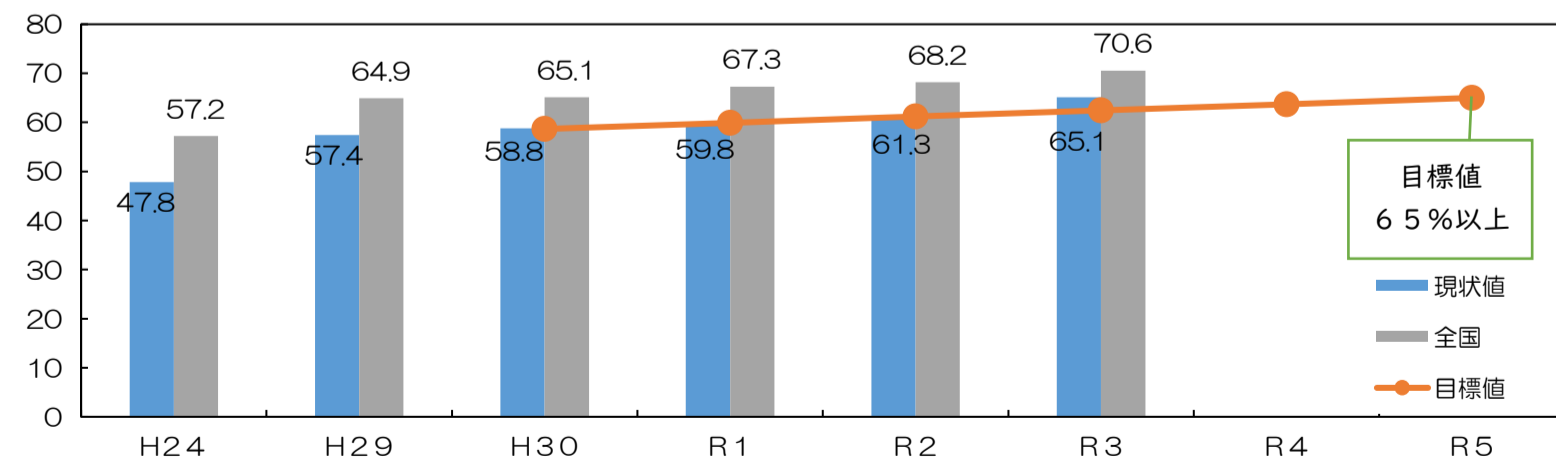
傾向と対策	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本県の12歳児一人平均むし歯本数は年々減少しており、R2（調査年度）結果では、0.9本と、第2期計画の目標値である0.8本に着実に近づいている。 ◆ 一方で、全国平均を下回る状況が続いており、フッ化物洗口の導入に向けた市町村支援の強化など更なる取組が必要である。（全国38位）
-------	---

12歳児におけるむし歯のない人の割合（％）

目標値	65%以上	評価	◎
-----	-------	----	---

計画年度	H24	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
(調査年度)	(H24)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)	(R3)	(R4)
現状値	47.8	57.4	58.8	59.8	61.3	65.1		
目標値			58.66	59.92	61.18	62.44	63.7	65.0
全国	57.2	64.9	65.1	67.3	68.2	70.6		

学校保健統計調査（文部科学省）



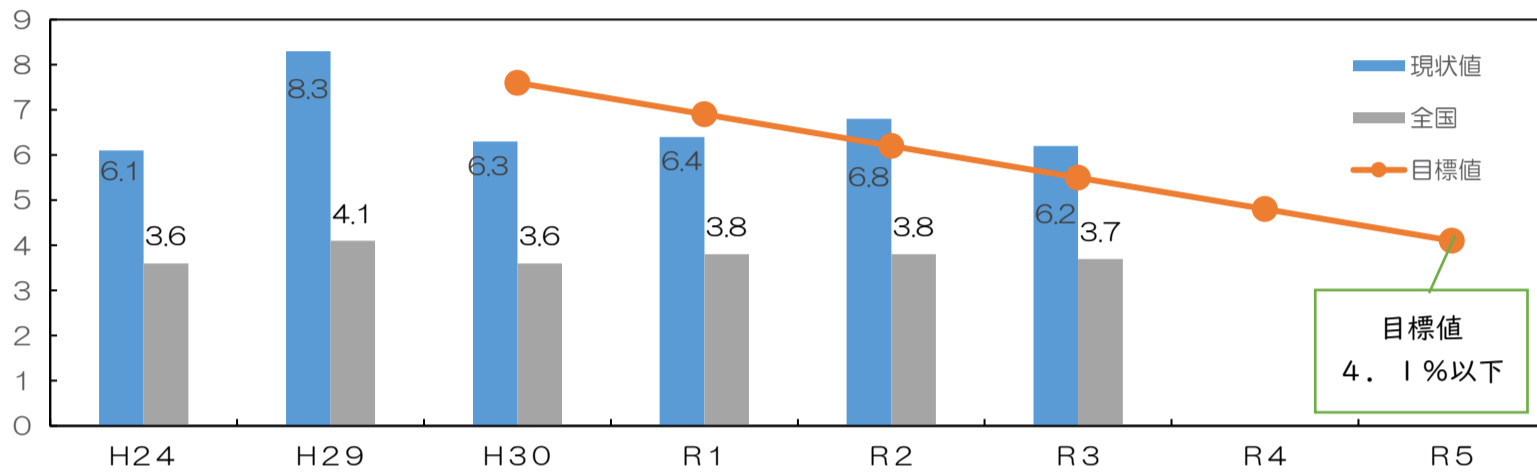
傾向と対策	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本県の12歳児におけるむし歯のない人の割合は増加しており、R2（調査年度）結果では、65.1%と、第2期計画の目標値である65%を達成する実績となった。 ◆ 一方で、全国平均を下回る状況が続いており、フッ化物洗口の導入に向けた市町村支援の強化など更なる取組が必要である。（全国35位）
-------	---

12歳児における歯肉に異常のある人の割合（％）

目標値	4.1%以下	評価	○
-----	--------	----	---

	H24	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
(調査年度)	(H24)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)	(R3)	(R4)
現状値	6.1	8.3	6.3	6.4	6.8	6.2		
目標値			7.6	6.9	6.2	5.5	4.8	4.1
全国	3.6	4.1	3.6	3.8	3.8	3.7		

学校保健統計調査（文部科学省）



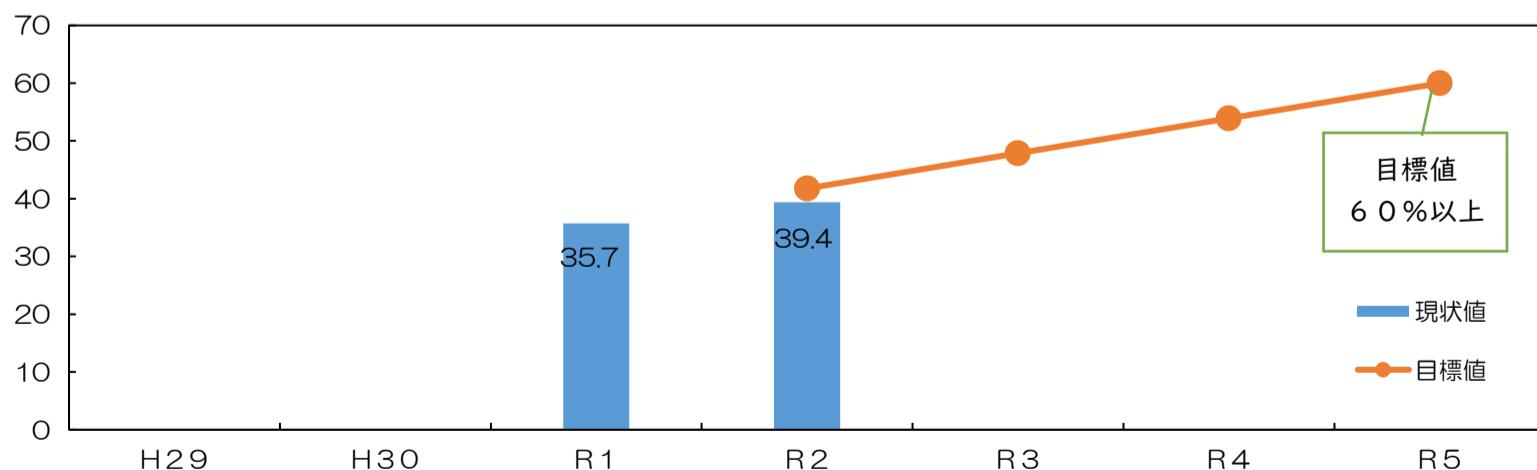
傾向と対策	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 歯肉に異常のある人の割合は、H29をピークにその後減少し、横ばいとなっている。（全国44位） ◆ 歯肉の異常については、適切な歯みがきと定期的なプロフェッショナルケアにより改善維持できることから、歯みがき指導や定期的な歯科受診の重要性について、児童生徒や保護者へ伝えていく必要がある。
-------	---

12歳児における要精検児童・生徒の受診率（％）

目標値	60%以上	評価	○
-----	-------	----	---

計画年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
(調査年度)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)	(R3)	(R4)
現状値			35.7	39.4	集計中	調査予定	
目標値				41.78	47.85	53.93	60

宮城県児童生徒の健康課題統計調査



傾向と対策	<ul style="list-style-type: none"> ◆ R1とR2の比較では、3.7ポイント増加している。 ◆ 受診率向上には、保護者の協力が不可欠であり、受診行動に繋がるような、健診結果の伝え方の工夫等が必要である。
-------	--

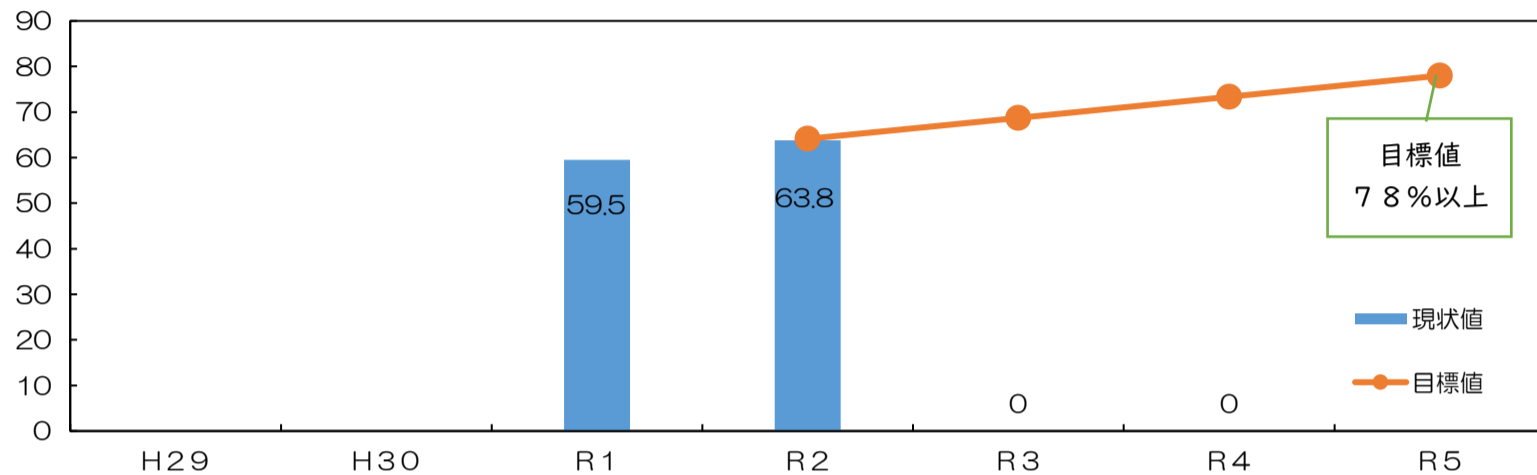
学校における昼食後の歯みがき実施率（％）

目標値	78%以上	評価	○
-----	-------	----	---

計画年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
(調査年度)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)	(R3)	(R4)
現状値			59.5	63.8	—	調査予定	
目標値				64.13	68.75	73.38	78

宮城県児童生徒の健康課題統計調査

(R2(調査年度)はコロナの影響等で集計なし)



傾向と対策	<ul style="list-style-type: none"> ◆ R1とR2の比較では、4.3ポイント増加している。 ◆ 学校で継続して歯みがきに取り組めるよう、感染予防対策を実施した上での取組方法について、教育委員会や学校へ情報提供していく必要がある。
-------	---

青年期

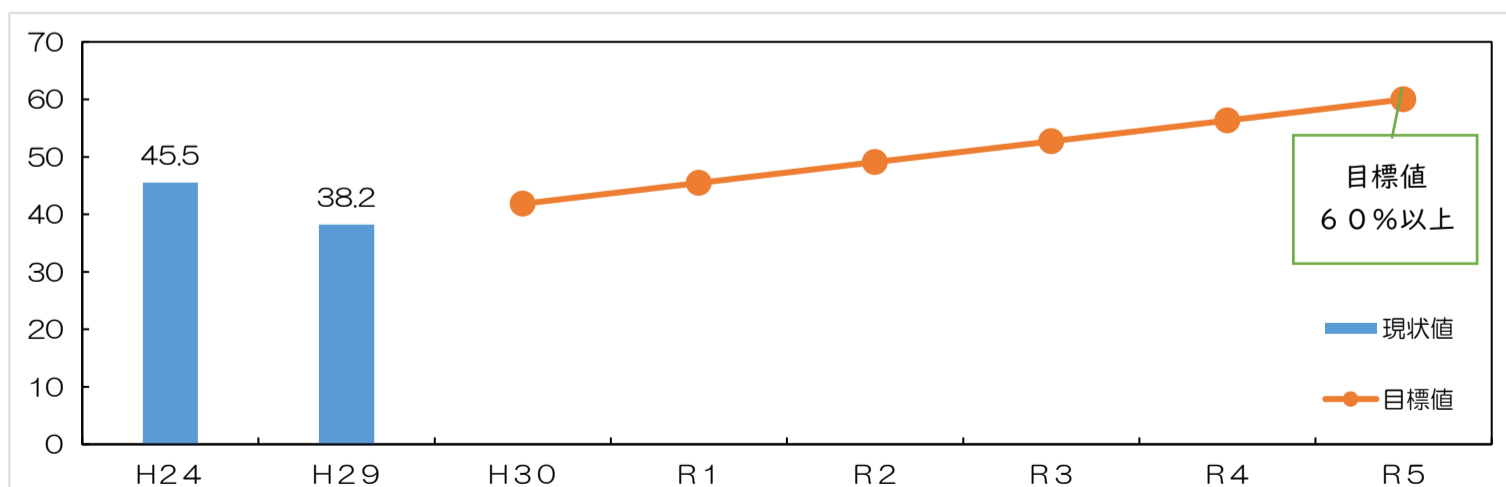
概ね19歳から39歳まで

歯間清掃用器具（デンタルフロスや歯間ブラシ等）を使用する人の割合（％）

目標値	60%以上	評価	△
-----	-------	----	---

計画年度	H24	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
(調査年度)	(H24)	(H28)						(R4)
現状値	45.5	38.2						
目標値			41.8	45.5	49.1	52.7	56.4	60

宮城県歯と口腔の健康実態調査



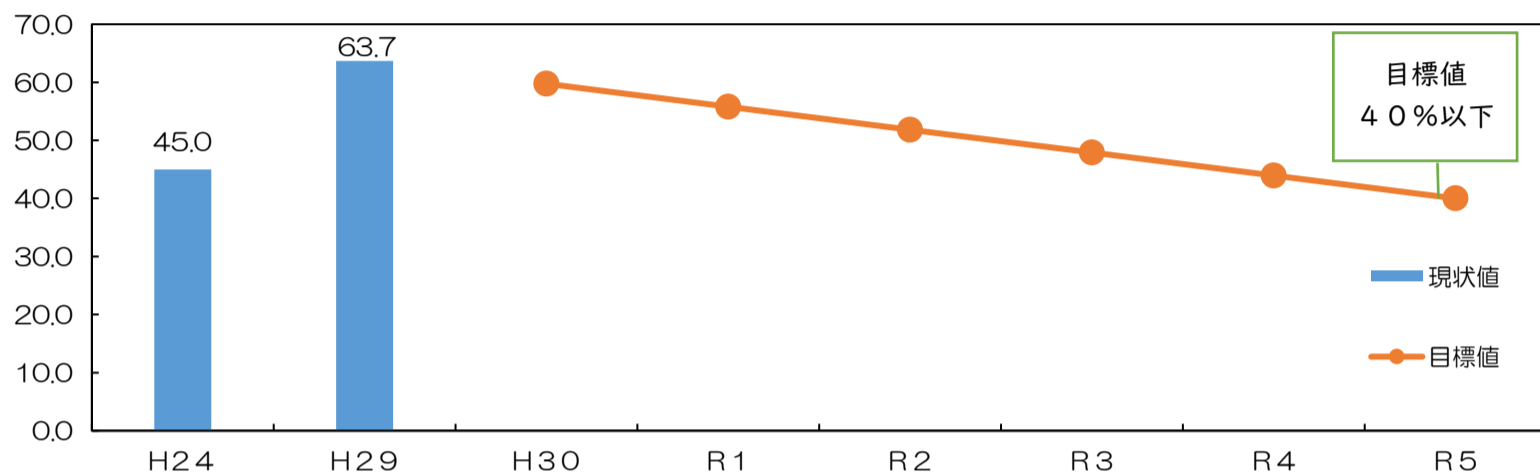
傾向と対策	<ul style="list-style-type: none"> ◆ H24とH29の比較では、7.3ポイント減少している。(次回調査がR4のため、数値の更新はなし) ◆ 歯周病予防のためには、歯間清掃用器具を用いた適切な歯みがきが欠かせないため、歯間清掃用具の使用定着へ向けた啓発が重要である。
-------	--

進行した歯周病（4mm以上の歯周ポケットを有する人）の人の割合（％）

目標値	40%以下	評価	△
-----	-------	----	---

計画年度	H24	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
(調査年度)	(H24)	(H28)						(R4)
現状値	45.0	63.7						
目標値			59.8	55.8	51.9	47.9	44.0	40

宮城県歯と口腔の健康実態調査



傾向と対策

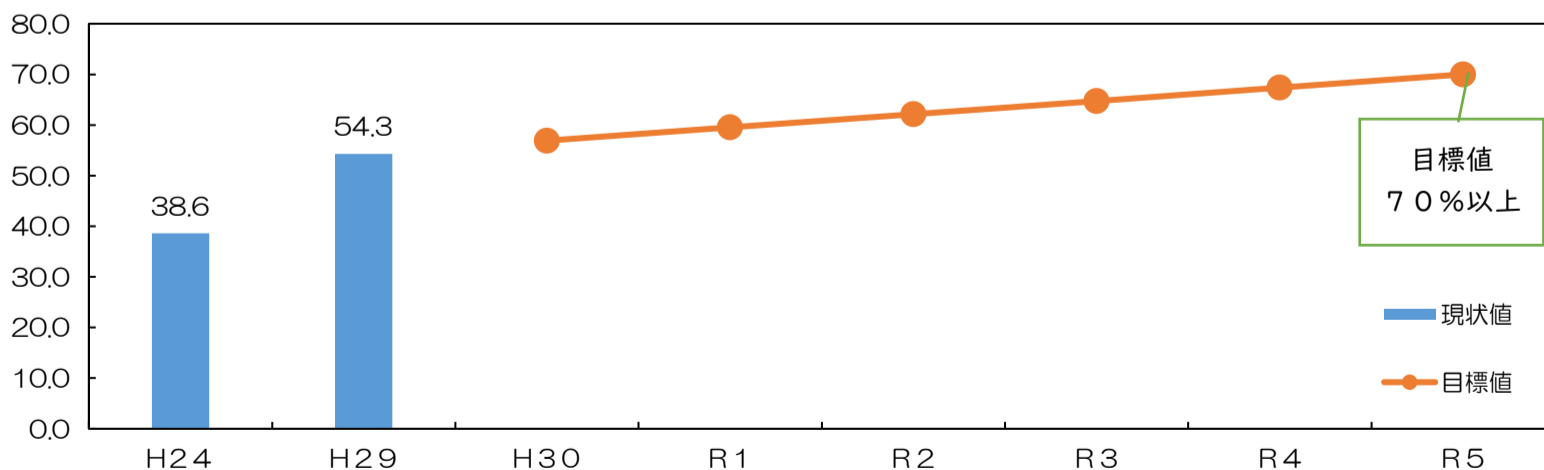
- ◆ H24とH29の比較では、18.7ポイント増加している。(次回調査がR4のため、数値の更新はなし)
- ◆ 「60歳で24本以上歯を保持する人の割合」が増加するとともに、「進行した歯周病の人の割合」も増加しており、ただ歯を残すのではなく、歯周病を予防し、健康な歯を残すために必要なことについても併せて啓発していくことが必要である。

60歳で24本以上歯を保持する割合（％）

目標値	70%以上	評価	△
-----	-------	----	---

計画年度	H24	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
(調査年度)	(H24)	(H28)						(R4)
現状値	38.6	54.3						
目標値			56.9	59.5	62.1	64.7	67.4	70

県民健康・栄養調査（宮城県）



傾向と対策

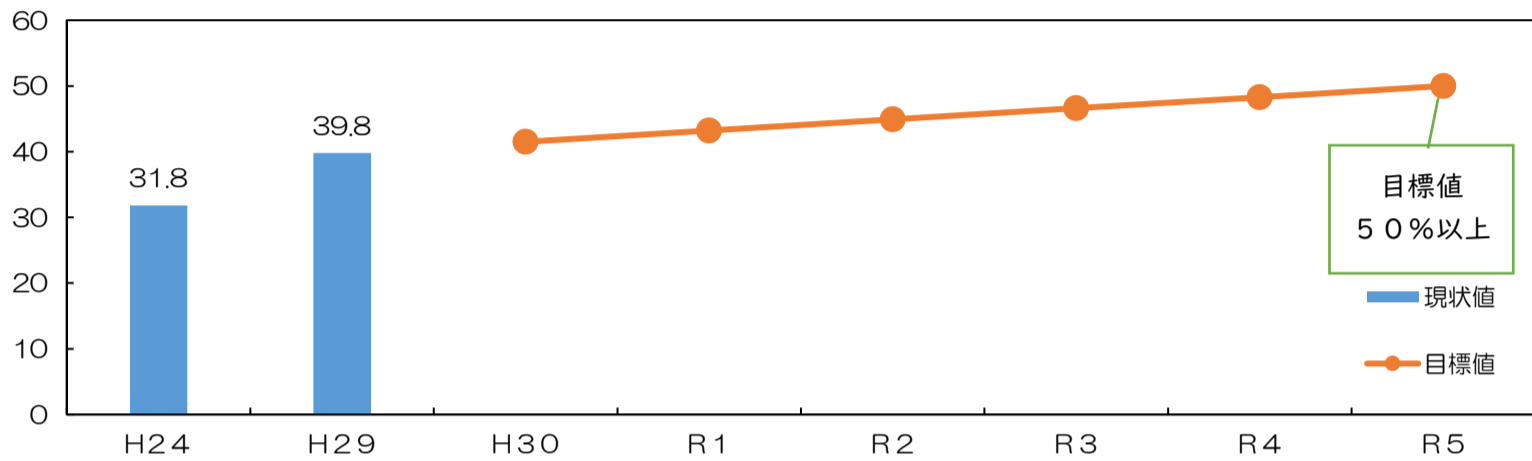
- ◆ H24と比較してみると、15.7ポイント増加している。(次回調査がR4のため、数値の更新はなし)
- ◆ 「60歳で24本以上歯を保持する人の割合」が増加するとともに、「進行した歯周病の人の割合」も増加しており、ただ歯を残すのではなく、歯周病を予防し、健康な歯を残すために必要なことについても併せて啓発していくことが必要である。(再掲)

80歳で20本以上歯を保持する割合 (%)

目標値	50%以上	評価	△
-----	-------	----	---

計画年度	H24	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
(調査年度)	(H22)	(H28)						(R4)
現状値	31.8	39.8						
目標値			41.5	43.2	44.9	46.6	48.3	50

県民健康・栄養調査 (宮城県)



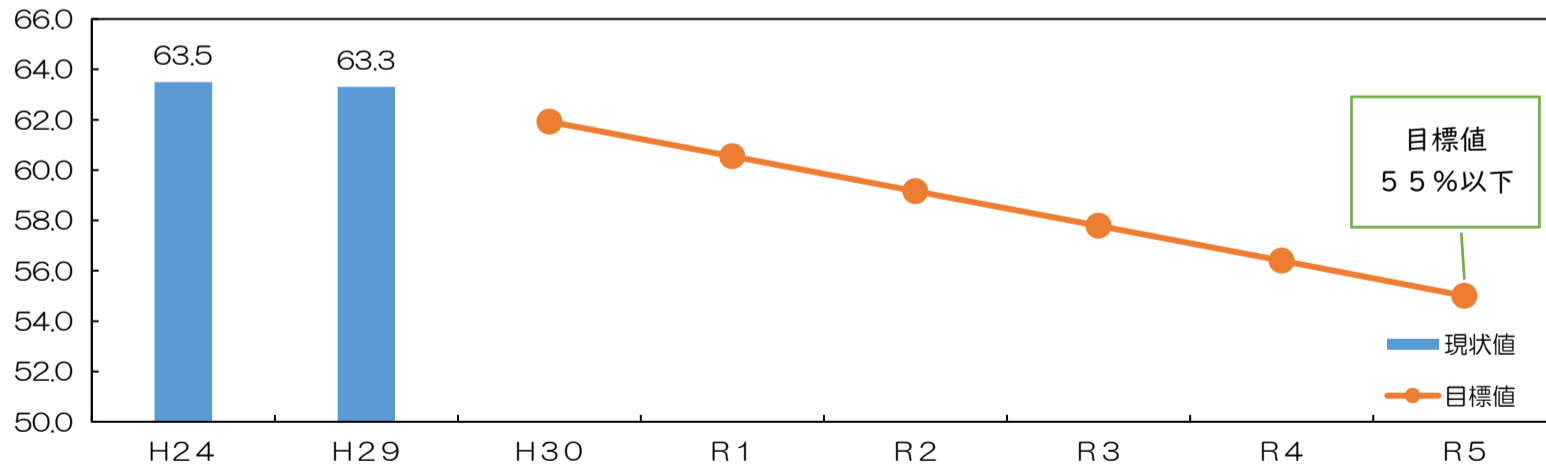
傾向と対策	<ul style="list-style-type: none"> ◆ H24とH29を比較してみると、8ポイント増加している。(次回調査がR4のため、数値の更新はなし) ◆ ただ歯を残すのではなく、歯周病を予防し、健康な歯を残すために必要なことについても併せて啓発していくことが必要である。
-------	---

進行した歯周病 (4mm以上の歯周ポケットを有する人) の人の割合 (%)

目標値	55%以下	評価	△
-----	-------	----	---

計画年度	H24	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
(調査年度)	(H24)	(H28)						(R4)
現状値	63.5	63.3						
目標値			61.9	60.5	59.2	57.8	56.4	55

宮城県歯と口腔の健康実態調査



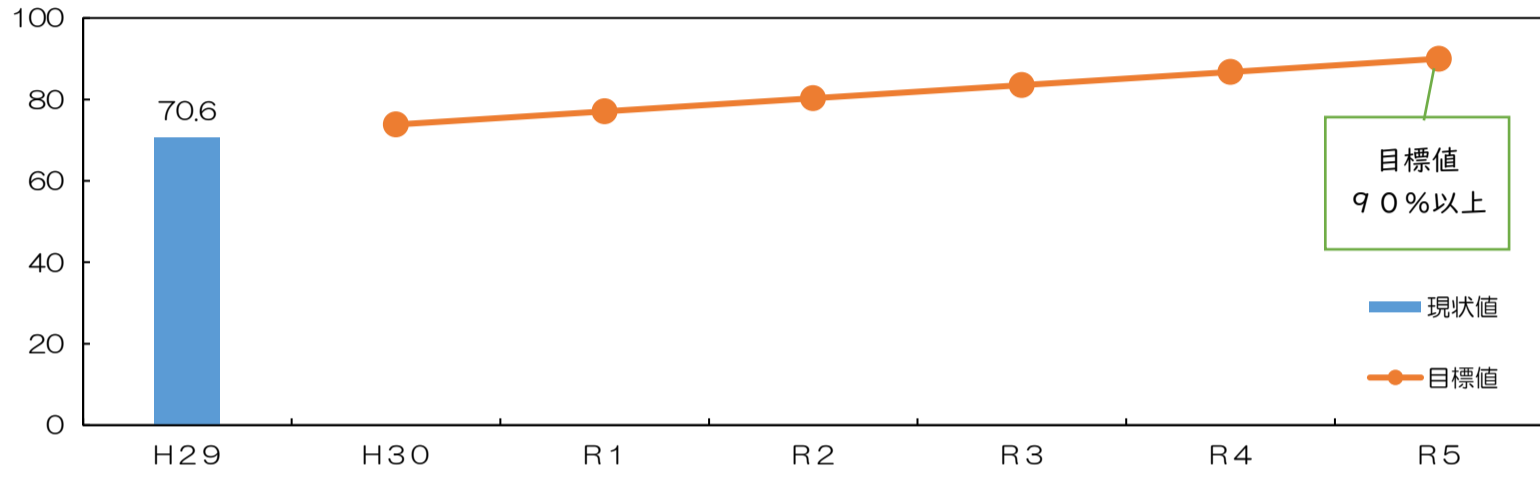
傾向と対策	<ul style="list-style-type: none"> ◆ H24と比較してみると、ほぼ横ばいである。(次回調査がR4のため、数値の更新はなし) ◆ ただ歯を残すのではなく、歯周病を予防し、健康な歯を残すために必要なことについても併せて啓発していくことが必要である。
-------	--

障害児・者入所施設での定期的な歯科検診実施率（％）

目標値	90%以上	評価	△
-----	-------	----	---

計画年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
(調査年度)	(H28)						(R4)
現状値	70.6						
目標値		73.8	77.1	80.3	83.5	86.8	90

老人福祉施設及び障害福祉サービス事業所における歯と口腔の健康づくり取組状況調査



傾向と対策	<ul style="list-style-type: none"> ◆ H28の調査では70.6%であったが、次回調査がR4のため、数値の更新はない。 ◆ 施設入所者や、介護保険サービス利用者の健康管理の一環として、歯科医療機関と協力し定期的な歯科検診や口腔ケアに取り組めるよう、施設職員研修を通じ情報提供や知識の普及を行っていく。
-------	---

第2期宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画達成指標一覧

計画期間：平成30年度から令和5年度まで

【凡 例】
◎：改善し目標達成
○：改善しているが目標は未達成
△：変わらない

妊産婦期・乳幼児期 概ね5歳まで

達成指標	現状値 (最新値)	目標値	評価	備考
3歳児の一人平均むし歯本数	0.57本 (R1)	0.58本 以下	◎	
3歳児におけるむし歯のない人の割合	83.9% (R1)	90%以上	○	
3歳までにフッ化物歯面塗布を受けたことのある人の割合	79.5% (H27)	94%以上	△	R4調査で実績把握 (幼児における歯科保健行動調査)
3歳児の間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ人の割合	29.2% (H27)	15%以下	△	R4調査で実績把握 (幼児における歯科保健行動調査)

学童期・思春期 概ね6歳から18歳まで

達成指標	現状値 (最新値)	目標値	評価	備考
12歳児の一人平均むし歯本数	0.9本 (R2)	0.8本以下	○	
12歳児におけるむし歯のない人の割合	65.1% (R2)	65.0%	◎	
12歳児における歯肉に異常のある人の割合	6.2% (R2)	4.1%以下	○	
12歳児における要精検児童生徒の受診率	39.4% (R1)	60%	○	
過去1年間に歯科医院や学校で歯みがきの個別指導を受けた人の割合	44.3% (H28)	63%以上	△	R4調査で実績把握 (宮城県児童生徒の健康課題統計調査)
フッ化物配合歯みがき剤の使用割合	96.3% (H28)	現状維持 (96.3%)	△	R4調査で実績把握 (宮城県児童生徒の健康課題統計調査)
学校における昼食後の歯みがき実施率	63.8% (R1)	78%	○	

青年期 概ね19歳から39歳まで

達成指標	現状値 (最新値)	目標値	評価	備考
かかりつけ歯科医を持つ割合	49.1% (H28)	70%以上	△	R4調査で実績把握 (県民健康・栄養調査(宮城県))
定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合	25.5% (H28)	30%以上	△	R4調査で実績把握 (宮城県歯と口の健康実態調査)
歯間清掃用器具(デンタルフロスや歯間ブラシ等)を使用する人の割合	38.2% (H28)	60%以上	△	R4調査で実績把握 (宮城県歯と口の健康実態調査)
喫煙で歯周病にかかりやすくなると思う人の割合	59.9% (H28)	100%	△	R4調査で実績把握 (県民健康・栄養調査(宮城県))

壮年期 概ね40歳から64歳まで

達成指標	現状値 (最新値)	目標値	評価	備考
かかりつけ歯科医を持つ割合	56.6% (H28)	70%以上	△	R4調査で実績把握 (県民健康・栄養調査(宮城県))
定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合	34.1% (H28)	45%以上	△	R4調査で実績把握 (宮城県歯と口の健康実態調査)
歯間清掃用器具(デンタルフロスや歯間ブラシ等)を使用する人の割合	53.8% (H28)	70%以上	△	R4調査で実績把握 (宮城県歯と口の健康実態調査)
進行した歯周病(4mm以上の歯周ポケットを有する人)の人の割合	63.7% (H28)	40%以下	△	R4調査で実績把握 (宮城県歯と口の健康実態調査)
60歳で24本以上歯を保持する割合	54.3% (H28)	70%以上	△	R4調査で実績把握 (県民健康・栄養調査(宮城県))
喫煙で歯周病にかかりやすくなると思う人の割合	50.2% (H28)	100%	△	R4調査で実績把握 (県民健康・栄養調査(宮城県))

高齢期 概ね65歳以上

達成指標	現状値 (最新値)	目標値	評価	備考
80歳で20本以上歯を保持する割合	39.8% (H28)	50%以上	△	R4調査で実績把握 (県民健康・栄養調査(宮城県))
かかりつけ歯科医を持つ割合	69.4% (H28)	72%以上	△	R4調査で実績把握 (県民健康・栄養調査(宮城県))
定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合	45.0% (H28)	60%以上	△	R4調査で実績把握 (宮城県歯と口の健康実態調査)
進行した歯周病(4mm以上の歯周ポケットを有する人)の人の割合	63.3% (H28)	55%以下	△	R4調査で実績把握 (宮城県歯と口の健康実態調査)
喫煙で歯周病にかかりやすくなると思う人の割合	41.1% (H28)	100%	△	R4調査で実績把握 (県民健康・栄養調査(宮城県))
介護老人福祉施設での定期的な歯科検診実施率	39.1% (H28)	50%	△	R4調査で実績把握 (老人福祉施設及び障害福祉サービス事業所等における歯と口腔の健康づくり取組状況調査)

障害児・者

達成指標	現状値 (最新値)	目標値	評価	備考
障害児・者入所施設での定期的な歯科検診受診率	70.6% (H28)	90%	△	R4調査で実績把握 (老人福祉施設及び障害福祉サービス事業所等における歯と口腔の健康づくり取組状況調査)